

事業所名: グループホーム笑顔

作成日: 平成 21年 12月 24日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の行事への参加などは行っているが、日常的な交流は少ない現状である。自治会加入の働きかけはしているが、ホームが病院、施設にあることもあり、現時点での実現はできていない。	地域の一員として、日常的に交流していくことが、地域の中で暮らし続けていくことにつながることから、自治会への加入や加入以外での地域交流を進めていく。	地域の方々へ毎月のお便りの配布などを行い、気軽に来てもらえるように働きかけたり、ボランティアの受け入れを計画的に行っていく。	12ヶ月
2	4	現在、会議を2ヶ月ごとに開催し、ホームに関わる報告や話し合いが行われているが、参加メンバーが利用者の御家族、市職員、包括職員にとどまっており、自治会や民生委員や婦人会などの参加が得られていない状況である。	地域の中で暮らし続けていくために、地域住民の代表などから参加してもらい、様々な情報交換を行いながら、相互の関わり方や協力体制を築き上げていく。	来年度からの会議への参加に向けて、市職員との調整も含めて検討していく。	12ヶ月
3	27	日々の様子やケアについての内容などを個別記録に記入しているが、見にくく、分かりにくい書式のものがある。	日々のケアをチームで実践していく中で、その結果や気づき、工夫などの情報を共有し、介護計画の見直しに活かしていけるよう、見やすく、分かりやすい書式の作成を行っていく。	記録用紙やチェック表などの書式を計画的に見直ししていく。そこから得られた情報を日々のケアに反映させていく。	6ヶ月
4	19	本人の生活の様子について、面会時や毎月のお便りでの報告を行い、絆や関係性の持続を図っているが、「任せている」と考えているご家族も見受けられる現状である。	スタッフとの密な関係を築き、本人と一緒に支えていくという考えを持って、関わってくれるように働きかけていく。	定期的に行事を開催し、楽しいひと時を提供したり、連絡を密に図り、本人をご家族とスタッフが一緒に支えていくという考えを伝えていく。	6ヶ月
5	26	3ヶ月に1回介護計画の見直しと作成を行っているが、介護計画に沿った統一ケアができていない場合がある。	介護計画書自体は計画作成担当者が作成しているが、カンファレンスに参加できなかったスタッフの意見を聞く機会を設け、チームでつくり、チームでケアをしていくという意識付けを図っていく。	カンファレンスの方法を見直し、統一ケアの浸透を図るとともに、実践に反映させていく。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。